

豊田氏と清水氏の

ちょっと行ってみたいへんで!

～「あづり越え」に挑戦～
峠縦走



今年初めて「山の日」が制定されました。それにちなみ、近くで簡単に登山気分が味わえて健康にも良いと思い、「徳島市立総合動植物園」から「徳島県立文化の森総合公園」へのコースに挑戦することにしました。

バスも利用できますが、今回は二人とも自転車で文化の森に集合し、一台を文化の森に残して、もう一台の車で出発地の植物園に移動し、車を駐車場に残し出発となりました。



駐車場北側の舗装されたくねくね坂からでもいいのですが、私たちは白い小さなアーチ（写真①）をくぐり、「アジサイの小道」②の階段から上り始めました。展望休憩所と冒険広場を過ぎると少し上った所にトイレ③があります。そこに「市民の森・竹林」という標識があり、竹林の方へ行き、行き止まり（鎖止め）になった所から左の方へ約10m進んだ所で右に細い登山道④（人が踏みしめた道）があり、つづら折りになった山道を登って行くと少し広い道（幅約1.5m）に出ます。その道の斜め左前に登山道があり、その道を登ってください。次に細い三差路に出ますので右に行くと、右側にロープを張った道



1

を進むようになります。左側には「市民の森・林間コース」と書いた短冊形のフダがついています。またしばらく歩くと目の前に眉山の見える開けた三差路に出ます。ここは少し広いです。ここまで約40分です。そこを右の下



2

り方向へ歩いて行くと、左の木立の間から「しらさぎ台」が見えます。そこから急な下り坂を進むと車道のような所へ出ます。⑤



3



4



5



その道のすぐ真正面の登山道を登る様に進んでください。細い道を進み電波塔の横を通って行くと、東の方に津田から小松島、和田島方面が見える広い開けた所があります。**6**しばらく下りの道が続きます。**7**ところどころで木々の間から街並みが見えます。登山道には、きれいな色の「きのこ」**8**や草花が咲いており、どんぐりや栗の実も落ちています。しばらく上り下りのくりかえして、再び急な下り坂がありそこを抜けると遍路道の道標（18番 恩山寺）のある所に着きます。どうやらここが「あづり峠」です。ここまで約1時間です。

まっすぐ上へと最大の難所である急な上りにさしかかります。ロープを頼りに登って行ってください。ここを越えてしばらく歩くと明現神社**9**の横に出ます。そのまま進むとすぐに電波塔**10**が二つあります。そこを過ぎてしばらく行くと街の騒音が聞こえてきて、大分下へ近づいてきたと思う様になりました。やがて同じような道幅の三差路に出ますが、そこを左にとって下りていくと文書館上の展望台に着きます。ここまで来ればもう達成したようなもの。あとは階段のある道を文書館横**11**まで下りて、約2時間のプチ登山も終了です。

途中、たくさんの登山者**12**と出会い色々な楽しい話もできました。シニアの方がほとんどで特に女性が多く見受けられました。片道ですとこのルートが楽な様な気がします。

到着後、博物館入口横の食堂で昼食をとり、図書館で一服、読書して帰りました。小さな山でも飲み物は必ず持ってください。その他、滑りにくい靴、杖、磁石、地図情報（スマホが便利）等があれば持っていくとよいでしょう。

